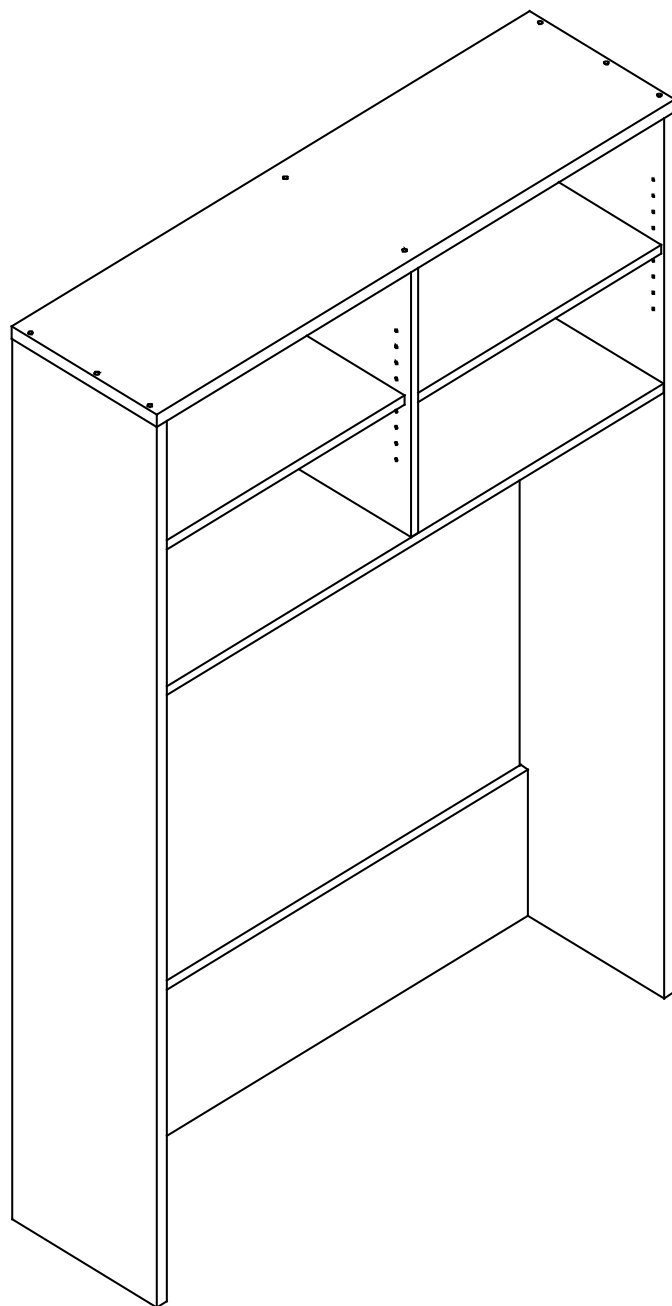


ハイラック DSP-HR125

取扱・組立説明書

tv351 ver.1



この度は当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱・組立説明書を最後までお読みの上、正しい使い方でご愛用下さい。
なお、この説明書はいつまでもご覧頂けるように大切に保管して頂きますようお願い申し上げます。

組立て前に必ずよくお読み下さい。

● ご準備頂くもの

- ・プラス(+)ドライバー
- ・はさみ、またはカッターナイフ
- ・少し大きめのダンボール、またはやわらかい布(タオルや布団等)

※ 組み立て時の注意

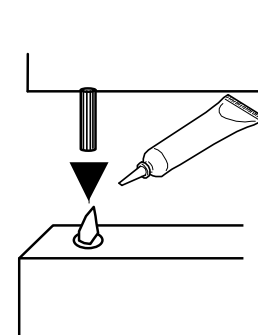
- ・安全に組み立てるために2人以上での組立をお勧めします。
- ・組み立ては平らな場所で、床などに傷がつかないようにダンボールや柔らかい布等を敷いて行ってください。
- ・最初はゆるめに組んでおき、最後に全体のバランスを見ながらしっかりとネジを締めてください。
- ・部品は正確に取り付けてください。

● 次の部品や小物を使用する場合は、必ず下記の要領を守って正しく組立てて下さい。

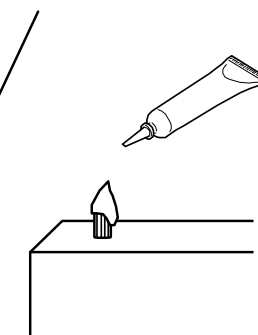
○ボンド・ダボ(接着について)



このボンドマークがあるところでは、下記のようにボンドを使用します。



ダボ穴にボンドを垂らし、
ダボをその上から
差し込む。



ダボに直接ボンドを垂らし、
穴の部分をかぶせて取り付ける。



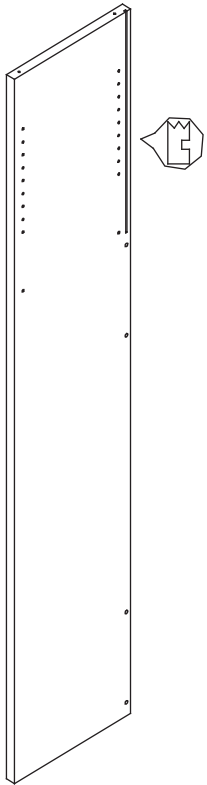
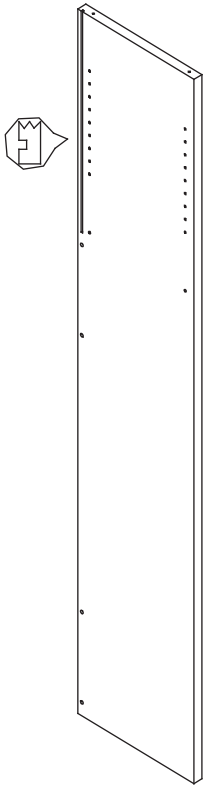
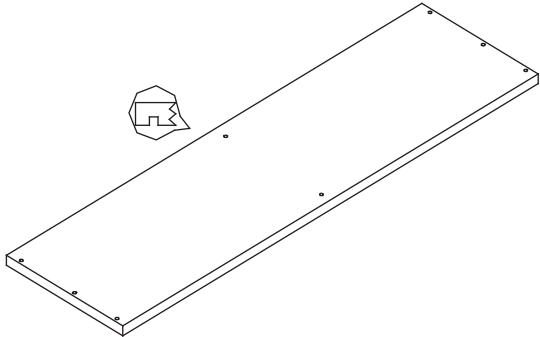
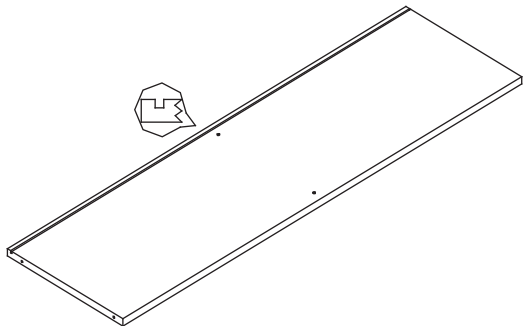
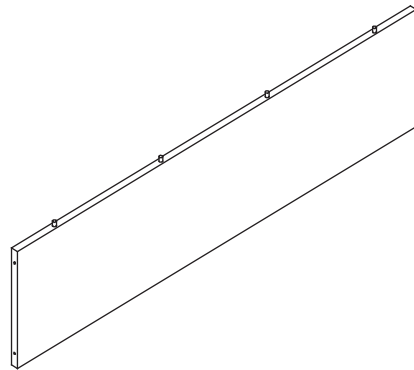
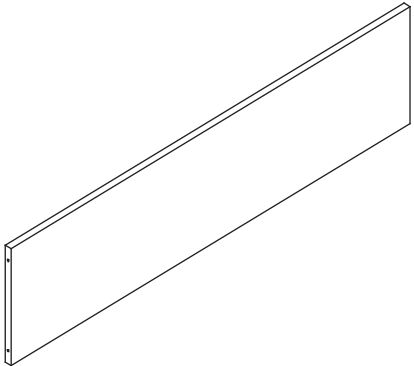
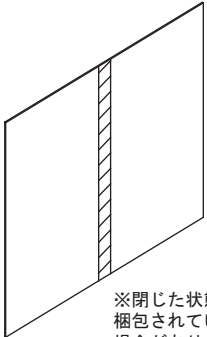
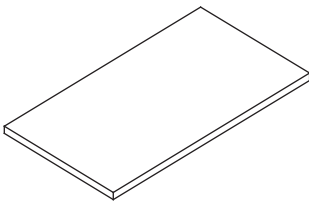
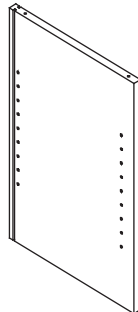


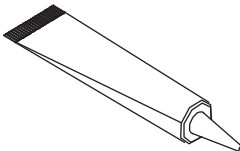
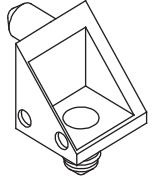

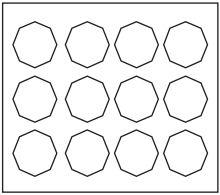
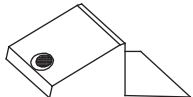
使用上の注意

- 本品は屋内用です。
- 移動する際は、必ず、載せているものを全て取り除いてから引きずらないよう持ち上げて移動して下さい。収納物や商品の転倒、破損ケガの原因になります。
- 必ず水平で安定した場所に設置して下さい。
- ストープのそば等、高温多湿の場所での使用は避けて下さい。変形や変色の原因になります。
- 水分、油、洗剤等が付着した場合は、素早くふき取って下さい。
- 粘着物をはりつけると、棚板の表面がはがれる恐れがありますので、テープやシール等は貼らないで下さい。
- 天災などの不可抗力や、不当な修理、改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。
- ダンボール箱からの取り出しや組立は、2人以上で行って下さい。

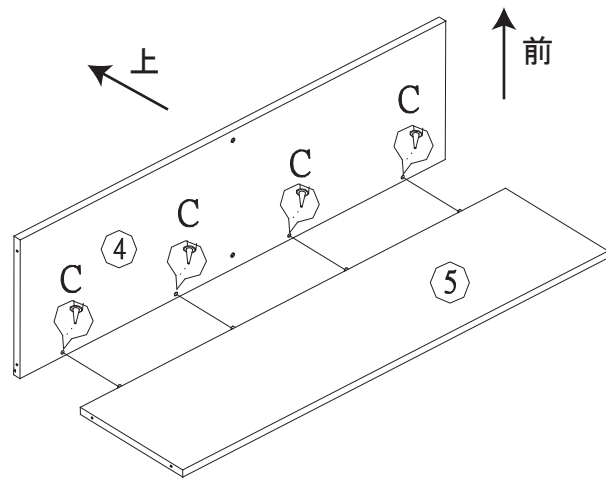
点検・お手入れについて

- 汚れをおとす際は、薄めた中性洗剤で拭いた後、固く絞った布等で完全に洗剤分を拭きとって下さい。水分等が残りますと後が残る恐れがあります。アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉等は使用しないで下さい。
- ネジ類は、その取り付けが確かかどうか、時々点検して下さい。

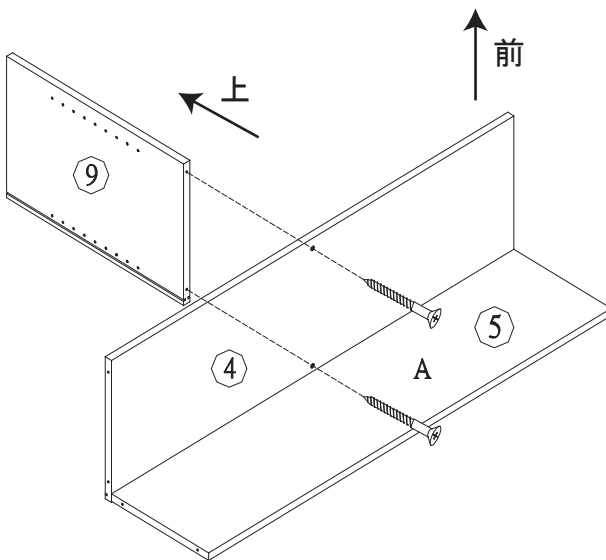
製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございましたら、
ご遠慮なく右記までご連絡下さい。

①左側板 x 1	②右側板 x 1	③天板 x 1		④棚板 x 1	⑤上段補強板 x 1	
						
		⑥下段補強板 x 1		⑦背板 x 2	⑧可動棚 x 2	⑨中仕切り板 x 1
				 <p>※閉じた状態で梱包されている場合がありますので、拡げて使用して下さい。</p>		
A: ネジa x 8	B: ネジb x 12	C: ボンド x 1	D: 棚ダボ x 8	E: 転倒防止用プレート x 2	F: ネジ隠しシール x 12	G: 背板ストッパー x 8
 <p>5.5x45KA</p>	 <p>5.5x55KA</p>		 <p>専用ネジ付属</p>	 <p>専用ネジ各2本付属 4x16PA</p>		 <p>専用ネジ x 8 3x18KA</p>
<div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">tv351</div>						

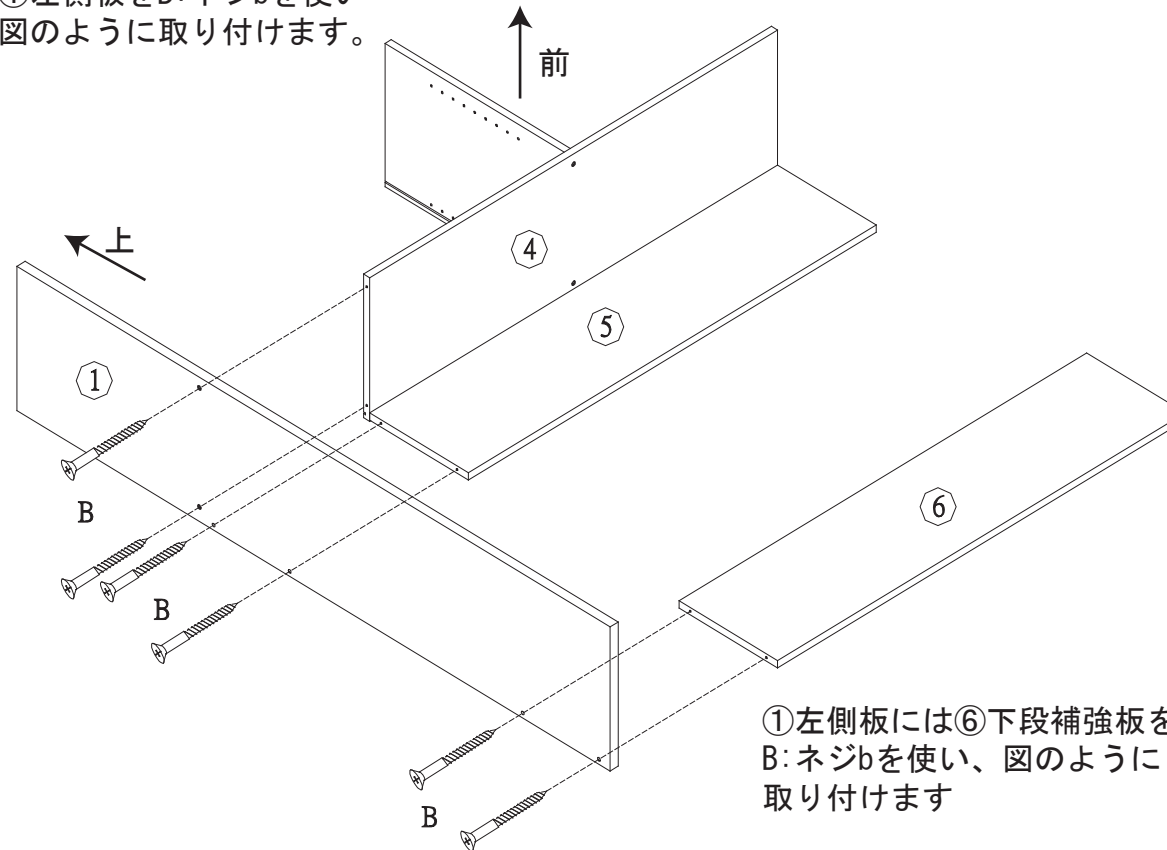
1 まず④棚板に⑤上段補強板をC:ボンドを使い図のように取り付けます。



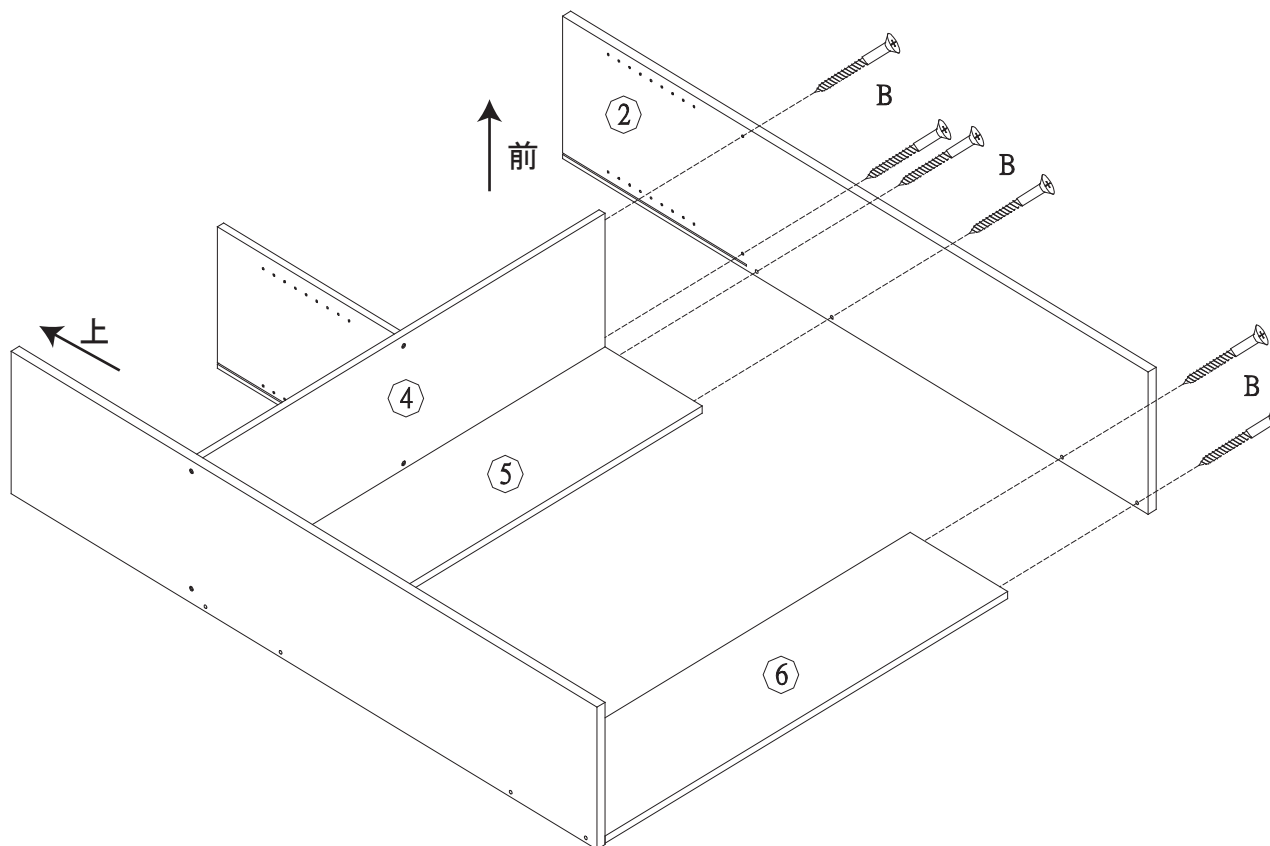
続けて、④棚板に⑨中仕切り板をA:ネジaを使い図のように取り付けます。



2 Step1で作成したパーツに、①左側板をB:ネジbを使い図のように取り付けます。

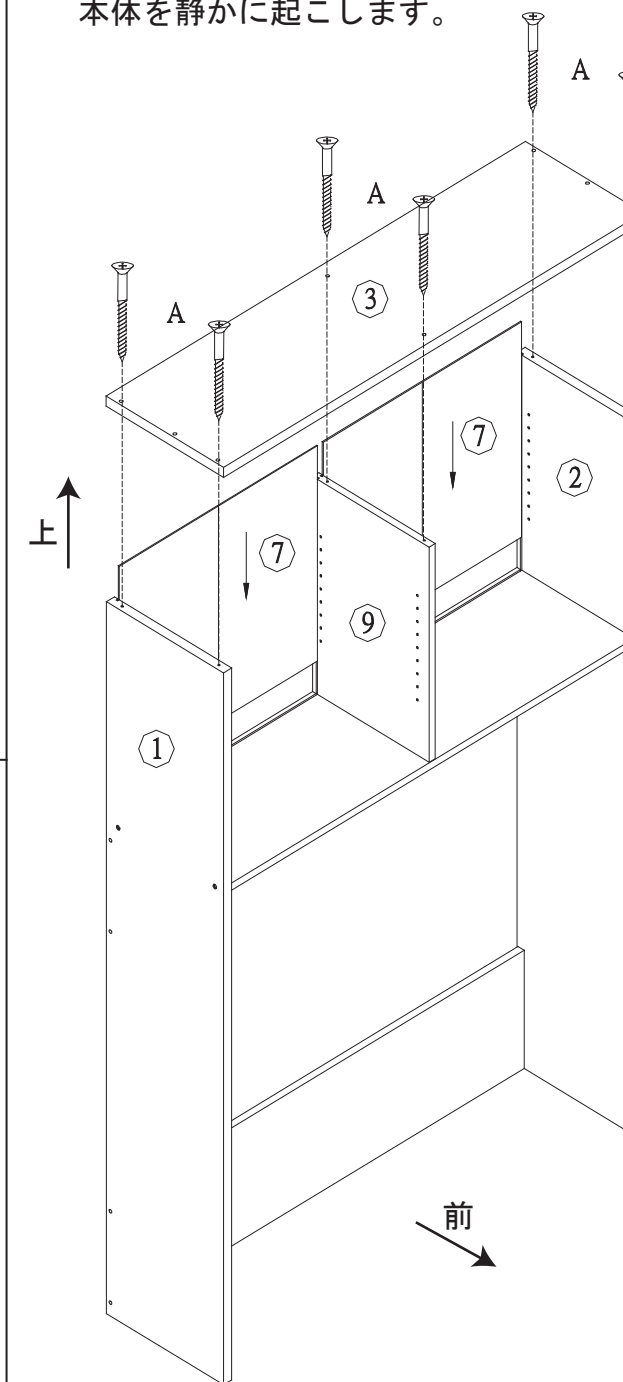


3 反対側に②右側板をB:ネジbを使い図のように取り付けます。



4 ⑦背板を本体に差し込み、③天板をA:ネジaを使い図のように取り付けます。

本体を静かに起こします。



※解説上、図では本体を起こした状態で背板、天板を取り付けていますが、横にした状態で取り付けてから本体を起こした方が取り付け易いです。

5 D: 棚ダボを専用ネジでお好みの高さに取り付け、⑧可動棚を乗せていきます。

D: 棚ダボの突起が上側に来よう取り付け、その突起が⑧可動棚裏面のダボ穴に入るよう据え付けます。

6 背面にG: 背板ストッパーを図のように取り付けます。ネジ穴部分にF: ネジ隠しシールを貼り付けます。

※背面の隙間に差し込み、専用ネジで固定します。

※壁面

壁際に設置する際、転倒防止にE: 転倒防止用プレートを本体と壁面に図のように取り付けて下さい。

※背面

※壁への取り付けは、壁の素材に合ったネジをご利用ください。

完成です。

tv351

※本商品は別売りの同シリーズ上置き125と連結することができます。

上置き125

上置き125付属 連結用ダボ

※背面

本体の天板に、上置き125に付属されている連結用ダボを取り付け、上置き125と連結させます。

この作業は必ず2名以上で行ってください。

上置き125付属 連結用プレート

上置き125

ハイラック

※背面

転倒、落下防止のため、上置き125に付属されている 連結用プレートで上置き125と本商品を固定します。

連結が完了です。

※天井への固定方法は同シリーズ上置き125の組立説明書をご参照下さい。